

あふろーち

<http://u-40.seesaa.net/>



第58号

平成19年10月1日
発行責任者
綾瀬市商工会青年部
部長 秦野耕一
《情報委員会》
委員長 村上隆至

第32回青年部花火大会盛大に開催



8月25日(土)、毎年恒例の花火大会当日。朝早くからぞくぞくと青年部員が集まっています。天気も上々で早速準備に取り掛かります。と、ここまでだと例年通りの花火大会のようですが、この日を迎えるまでに実はかなり苦労したのです。

この綾瀬市商工会青年部花火大会は、その全ての費用を協賛金でまかなって打ち上げられており、青年部員は数ヶ月前から「御協賛のお願い」で奔走してきました。しかし、今年は協賛金額が当初予測よりかなり少なく、花火大会への影響が避けられない状況になったのです。

そこで、今事業委員長の下、部員一丸となってさらなる御協賛を募ることにしました。例年の協賛金の集金でさえ仕事の合間をぬっての大仕事なのですが、今年はそれに加え新たな御協賛を頂くために部員全員が取り組みました。そしてなんとか例年通りの花火大会が開催できる見通しが立ち、花火当日を迎えた訳です。

さて、当日の模様に戻りますが、午前中は売店準備や立ち入り禁止区域への備品設置作業で過ぎていきます。そして午後になると会場周辺の警備体制が始まり、部員は担当箇所での警備を開始します。今年はメイン会場周辺では大きな混乱はなく、美しい夕焼けを見ながらの警備となりました。

そして会場のステージ上で秦野部長による打ち上げカウントダウンが始まりました。「5、4、3、2、1」、ドドーンと打上開始。今年は風向きが悪く、右手前側に

煙が被ってしまい、花火の全体が見づらくなってしまいましたが、花火本来の迫力は変わりません。会場から花火が花開くたびに聞こえてくる歓声と拍手を聞く度に、青年部員は「頑張ってよかったなー」としみじみ思えるのでした。

風向きは花火終盤でも変わらず、クライマックスの尺五寸玉の打ち上げです。この尺五寸は到達高度が他の花火に比べて段違いに高い為、煙の影響もなく大輪の花を咲かせました。そしてラストの大スターマインです。次々に打ち上がる花火はその残像を重ねながらどんどん高く花開いていき、会場周辺はまるで昼間のように明るく照らされ、会場の興奮もクライマックスに。2000発全てが打ち尽くされ、会場の大拍手と共に花火は終了となりました。

最後の大仕事・花火カス拾い

昨夜の興奮も冷めやらぬ翌日の26日早朝。疲れた体に鞭打って最後の仕事、備品回収と花火カス拾いです。昨年に続いて今年もボランティアの方を募集し、多数の参加を頂きました。

まずは打ち上げ地点まで移動し、軍手とゴミ袋を持ってカス拾いを開始します。打ち上げ時の風向きの関係で、市役所側に多くの花火カスが落下していました。今年は例年に比べ人数的に多かった為、それぞれ分散して効率的に拾うことができ、予定より早めにカス拾いは終了。

ボランティアの方には花火師さんが作ってくれたミニ花火模擬玉がプレゼントされました。参加頂いた皆さん、ありがとうございました。



当日の模様など花火関連の詳細情報は青年部ブログにて公開中です。ぜひアクセスしてみて下さい。

2007主張大会・総集編

● 県央ブロック予選

7月4日(水)、座間市商工会館において、主張大会の県央ブロック予選会が行われました。

綾瀬市商工会青年部からは岩寄浩君、岩田徹也君の2名が出場しました。この予選会での上位2名が県央ブロック代表として神奈川県大会へ進むことが出来ます。

県央ブロックの他市町の青年部の出場者は座間、愛甲、寒川からそれぞれ1名、計5名でした。

抽選の結果、岩寄君は3番目、岩田君は5番目の発表となりました。

岩寄君の発表は穏やかに、それでいて青年部に対する熱い思いの詰まった素晴らしい発表でした。

続いて4番目の方の発表が終わりましたが、岩田君は順番になども現れません。渋滞というアクシデントに見舞われ、急遽休憩が設けられました。

20分の休憩の後、岩田君が到着、さっそく発表となりました。

岩田君の発表は威勢が良く、気持ちのいい主張となりました。最後には手を上げて宣言をするパフォーマンスまで披露してくれました。



計5名で争われた主張発表も終わり、県央4青年部席の懇親会の後、審査結果の発表が行われました。

優勝は寒川代表の古本さん、そして準優勝が我が青年部の岩寄君でした。この2名は県央代表として県大会へと駒を進めます。もう一人の綾瀬代表、岩田君は3位入賞でした。輝かしい成績であるにも関わらず、残念ながら県央ブロックの代表になることは出来ませんでした。

全体的にレベルの高い大会となった今回の中で、特にこの上位3名は甲乙つけがたく、順位発表まで相当時間がかかりました。

岩田君はここで主張大会が終わってしまいましたが、自らの青年部人生を振り返り原稿を作成して、部員の皆の支援を受けながら練習し、人前で主張する、というかけがえのない経験となつたことだと思います。

そして岩寄君には、さらに県大会という大舞台が待っています。

● 県大会

7月25日(水)、いよいよ県大会当日です。会場はホテル横浜ガーデン、この県大会で優勝すれば関東ブロック大会へのキップを手にすることができます。平日の日中にもかかわらず、多くの青年部員が応援に駆けつけました。

この県大会では、主張発表前に応援タイムが設けられており、所属ブロックの応援団により主張者は熱いエールを送られ、発表に臨むことになります。

各ブロック予選を突破してきた主張者の発表はどれも素晴らしい、また、その応援もさまざまでした。

やがて岩寄君の発表順がやってきました。会場後方の扉から岩寄君が入場、ここで応援タイムです。応援メッセージが読み上げられ、岩寄君は壇上に上がります。

マイクを通した第一声からタイムカウントが始まりますが、岩寄君はその前に水を飲み、マイクの位置を直す余裕を見せ、いよいよ発表です。

「あなたは、青年部活動を楽しんでいますか?」という問い合わせから始まる岩寄君の主張発表は、他のどの主張者とも違う独自の視点から構成されており、途中で詰まつたりすることもなく発表終盤へ。タイムオーバー寸前のところで無事その発表を終えることができました。

発表し終わった岩寄君は、自分なりにミスした箇所のことが気になっていたようですが、応援する側としては見事な主張発表でした。また、発表が終わったあとの岩寄君の清潔感のある表情が印象的でした。

全ての主張発表が終わり、審査員は別室で審査を行い、その間、会場では「裁判員制度」の研修会が行われました。当青年部では今年2月、独自に裁判員制度の研修を行つておられました。

そしていよいよ結果発表。最優秀賞から順にその所属単会の名称と名前が読み上げられますが、残念ながら今回の県大会では入賞を逃す結果となりました。

しかしながら今年の主張大会でも「綾瀬ありき」の印象を残したことと思います。それは主張者自身が真剣に取り組むことはもとより、研修委員会を中心として青年部全員が応援し、サポートしてきたことも大きな要因となっています。

今年の綾瀬代表を立派に務め上げてくれた岩田君と岩寄君、本当に疲れ様でした!



レセプション7月 「融資について」開催！

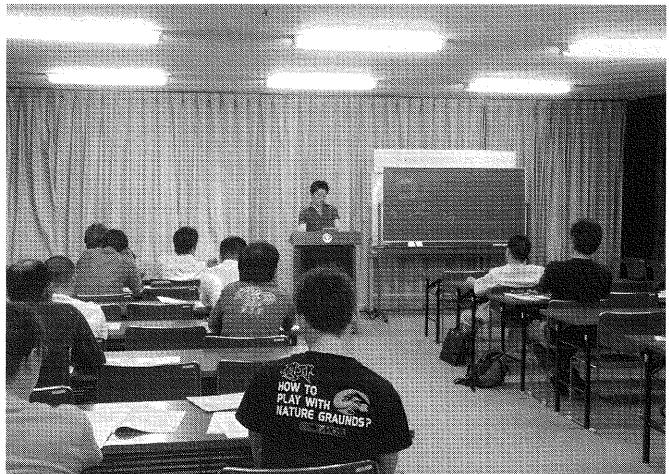
7月27日（金）、商工会館大会議室において、7月度レセプションが行われました。レセプションは、部員同士の親睦をはかると同時に、新入部員候補の方に参加していただきて、青年部の雰囲気を体験できる機会を設ける、という部員増強委員会の事業です。

今回の内容は「商工会で利用できる融資について」と「金融機関の融資について」の講義と、その後の懇親会です。

「商工会で利用できる融資について」では、商工会事務局の長谷川さんが実際に商工会で斡旋している金融機関の融資商品を説明してくれました。

経営者にとって、融資は会社経営上必要になることが多いと思います。商工会を通じて金融機関より様々な形の融資が受けられることを知らなかつた方も多いかったのではないかでしょうか。

続いて、「金融機関の融資について」です。講師は部員の川崎君です。川崎君はもともと金融機関に勤務していました。そのため、金融機関側から見た融資の判断基



準や商品の有効な利用の仕方、上手な金融機関との付き合い方など、様々な裏事情を披露してくれました。

なかなか聞くことの出来ない情報に、参加者も聞き入っていました。前半の「商工会で利用できる融資」と相まって、相乗的に有意義な講義となった事と思います。

皆様の事業所に、商工会青年部員の条件（40歳以下、男女問わず）を満たした方がいらっしゃいましたら、商工会までご一報下さい。レセプションにご招待いたします。是非よろしくお願ひします。

研修事業 ブレインストーミングとは？

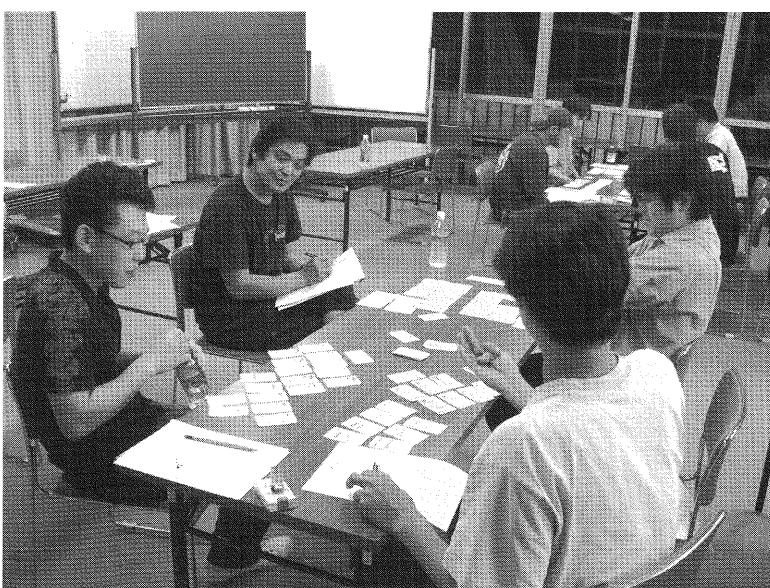
8月3日（金）、商工会館大会議室において、研修事業「ブレインストーミング」が行われました。

ブレインストーミングとは、発想法の一種で、数多くのアイディアを短時間に効率的に生み出す方法です。今回は、ブレインストーミングをより分かりやすく、より効果的に行う為に、「ブレスター」というカードゲームを利用しました。ブレスターは、そのゲームを行うと、初心者でもブレインストーミングを実践できるツールで、産官学の共同開発により、2007年に開発されました。

ブレスターを使って行うブレインストーミングは、アイディアを出すだけにとどまらず、参加者の創造性を高めたり、自分の情報不足に気付かされたりと、高い効果が得られます。それは、ブレインストーミングの基本的なルールから来ているのです。

ブレインストーミングでは、

1. どんな意見も批判をしない
2. 自由な意見を歓迎し、突飛な意見でもかまわない



3. 沢山アイディアを出す、質は関係ない

4. 誰かの意見に便乗して発展させる

というルールがあり、そのため、参加者はストレスを感じずに短時間で色々な結果を得られるのです。

今回の研修では、「桜まつりや花火大会に匹敵する青年部事業」をテーマとしました。様々なアイディアが提案されました。中には突飛な意見も多く生まれました。

ですがなによりも、ゲームを通じてチームワークの強化を強く感じられました。研修中は、あちらこちらで笑いが起り、まるで会議とは思えない雰囲気の中で、次々とアイディアが生まれました。

ブレインストーミングの研修では、アイディアの出し方はもちろんのこと、企画会議へ臨む時の心構えも習得

できたように思えました。

「ブレスター」は青年部が保有していますので、使いたい方がいらっしゃいましたらご連絡下さい。

第32回青年部花火大会協賛金の御礼

今年も無事に花火大会を終えることができました。御協賛頂いた企業の方々、また個人の皆様に厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。

花火大会御協賛者・ルックあやせ未掲載分

(敬称略、順不同)

■10,000円以上の部

(有)エグゼクティブ

■5,000円以上の部

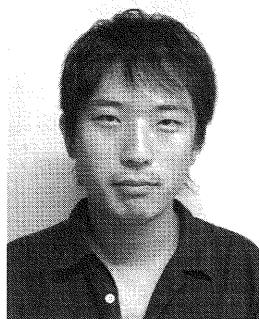
(株)産建

三橋保和

ルックあやせ誤掲載のお詫び

「ルックあやせ」にて「中村自治会副会長 鈴木定公」様のお名前が誤っておりました。訂正すると共にお詫び申し上げます。

新入部員紹介 ようこそ



清水 始

事業所名：清水建築

生年月日：昭和55年10月1日

血液型：A型

趣味：釣り・ツーリング

部員募集!!

綾瀬市商工会青年部では、一緒に活動してくれる部員を募集しております。どうぞお気軽に事務局まで御連絡ください！ちょっと見も大歓迎ですよ！

当青年部元部長・故善波文人氏を偲ぶ
去る6月7日、当青年部第14代部長・善波文人氏
がご逝去されました。その温厚なお人柄から多く
の部員から慕われてきました。ここに生前のご
功績とお人柄を偲び、衷心よりご冥福をお祈り申
し上げます。

10月～11月 活動予定

10月19日 10月度レセプション

会場：ミネボウル

11月 2日 講演会研修

「気づき・気配り・気遣いを生む」

会場：綾瀬市商工会館

11月23日 平成19年度・臨時総会

会場：綾瀬市商工会館

11月24日 慰労会

会場：南明ホテル

.....編集後記.....

さて、花火大会も無事終了し、情報委員会としてもホッと一息というところです。なにせ当日撮影した写真は700枚近くあり、取材する側としてもやはり花火大会は大きな事業なのです。紙面の都合上掲載しきれなかった写真は青年部ブログに大量アップしています。ぜひご覧下さい！

■青年部ブログ（ホームページ）の見方

パソコンなら<http://u-40.seesaa.net/>もしくは、どの検索エンジンでも「綾瀬市商工会青年部ブログ」と入れれば直に行きます。携帯から見る場合は同じくアドレスを入力するか、「あぷろーち」表題にあるQRコードを読み込んでアクセスして下さい。

嫁にはやりません。

